

「お兄さんはだれのファン?」「石野真子やん」



第85号 BenHouse 編集 尾上大輔 姫路市南条637 TEL:079-222-5500 www.benhouse.co.jp バックNO. は上記WEBで

姫路の魚町にいい店発見、昭和酒場、表には松田聖子、山口百恵、桜田淳子のレコードジャケットが、表の飾りつけは最高に好みなんやけど、行きたいな

と、思うのですが、初めての店はなかなか入りにくいもので2、3回、縁がありませんでした。ついについに、この間タイミングが合つて行つてまいりました。『タイムミング?』そう、お好み焼き居酒屋さんなので、おなが一杯の時には行けない。ちようどその日は約束の8時まで時間つぶしが必要で、腹ごしらえもして行かないとという絶妙なタイムミングでした。(よく考えるとビジネスつてタイムミングですよね。複合機を入れたばつかりで

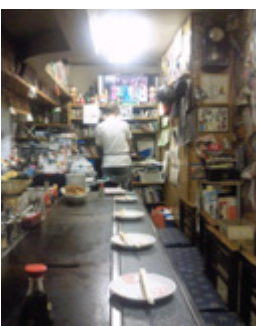
て買つてくが、えなもはかりで



時は、待つてましたと買つてもらえ。そんなもんやから、ビジネスのタイムミングは数やね。行けば何が起ころかわからない。お店の暖簾をくぐると、人のよさそうなお兄さんが『いらつしやい。何しましよ』『生ビールね。』

『はいよ。』『ここ雰囲気いいね』『なんでも話が始まる。鉄板焼きのカウンターが1列でイスが10席位かな。奥のほうに大画面TVが、昭和の紅白歌合戦がながれていました。ビールをぐびりとやつて一息ついた頃に、マスターが『お兄さん誰のファン?』『そやね石野真子かな』『なんていうと、秘蔵の映像が出てくるんですよ。石野真子オンパレード。スター誕生(タレントの発掘の歌番組)のビデオの前の石野真子の映像から、

の前の石野真子の映像から、



「てんぷらって、関東? 関西? やっぱ関東」

新人賞受賞の『狼なんか怖くない』の映像、夜のヒットスタジオのオープニング(最初のオープニングで順番に他の出演者の歌を歌つてバトンタッチする。なつかしいくですよ)とか、お別れコンサートまで、これでもかこれでもかと映してくれんだな。まいった、もういいですといわない大ちゃんもいい根性。壁には一杯アイドルの写真が、『マスターは誰のファン?』『桜田淳子やね』『ぶくんアノ頃の一番の美人やつたね。』なんて気持ちよくなつてもらう。そうしとけばサービスイいんだから、人間つて単純単純。『みんな喜ぶでしょう』『いや、一番困るのは、恥ずかしがつて好きなアイドルを言わない人がいるんだな、それには困る。』『すげー一杯アイドルのレコードジャケットがありますね?』『うん、最初は少なかつたんやけど、だんだんお客さんが持つてきてくれてな。みなさん置くところに困つとんかな。』なんて、お話ししていただきました。場所魚町ローソンから西へ200m、右手にあります。昭和レトロがお好きな皆様はぜひお訪ねになられたらいかがでしょうか。

大きな違いは、油の違い、関東はごま油、関西は??? 昔は菜

種油でしたが、今はサラタ油なんていわれませんが何でしょうね? 関東は黒いゴマ油、てんぷらも狐色。関西はお上品にウス茶色。家でもスーパでも料理屋さんでもウス茶色やから、なにか狐色にあこがれますよ。この間、奥と神戸の阪急に行つたとき、ハゲ天の看板が、これが銀座のハゲ天が、料金も1300円、いいな。中へ入るとそんなに豪華ではないがどつしりした店作り。店員さんは白の食堂制服の素朴なおネエさん(飾り気がなく気のよさそうな)と、しっかりと盛りしてあります。まずはカラの皿とツユと汁物、漬物がのつたお盆を持ってきてくれます。オーパーンカウンターでは白の板前服の職人さんがてんぷらを揚げてくれます。揚げたてを、素朴なおネエさんがもつてきてくれて順番にお皿に乗せてくれます。『えびです。』なんてね、よく聞えない事。その素朴な感じ(昔の青森から集団就職してきたような感じのおネエさん)がなんとほほほ笑ましい。やつぱりてんぷら屋には、おぼこいおネエさんと、おしつかり

山雄三の若大将シリーズの焼き屋の久の



